

穂学

令和2年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 11]

令和2年8月24日(月)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「行事盛りだくさんの2学期がスタート！」

8月17日、2学期が始業しました。例年より1週間短い3週間の夏休みでしたが、登校してそれぞれが夏休みの思い出を学級で発表したようです。学年によっては絵日記で紹介したところもありました。1学期より日焼けしている児童生徒も多かったことから、家族で海や山に出かけた子も多かったように感じられました。

始業式では小学部代表(4年女子)が、家族で過ごした夏休みの思い出と共に、2学期に頑張りたいこととして、「算数の計算で間違えないようにていねいに計算し見直しまですること。小さな積み重ねを大切にしたい。運動会では協力していい思い出を作りたい」と発表しました。具体的な目標がありとても素晴らしいですね。

また、中学部代表(中3女子)は、「苦手な教科を他の教科と同じくらいできるようにする。テストでは早く解くことを意識し、練習問題に取り組みたい。高校で困らないように、2学期は先のことを考えて勉強の計画を立てたい」と抱負を述べました。卒業後のことをしっかりと考えた三年生らしい発表でした。

2学期は行事が盛りだくさんです。各学年とも校外学習や遠足、そして修学旅行に宿泊学習など、それぞれの学年ならではの行事に取り組みます。もちろん、学校全体の行事として行われる運動会。今年は天候も安定し涼しい秋の実施となります。9月から学年での話し合いや練習がスタートします。PTAとしてのプログラムもあるので、児童生徒、先生、保護者、みんなで盛り上げていきましょう。また、12月に延期になった「JSG冬祭り(仮称)」もあります。その頃には多くの児童生徒が戻ってきて、夏祭り同様、みんなで楽しめるといいですね。

先週金曜日(8月21日)、4月から延期していた入学式を執り行いました。小学部13名、中学部21名が新一年生として在籍しています。現在登校している小学部10名と中学部6名の新入生が、多くのご来賓や保護者に見守られる中、入学式に参加し、たくさんのお祝福を受けました。

ご来賓の方からは次のようなメッセージを頂きました。「学校生活は必ずたくさんのお知識や思い出や友情をくれます。それは必ず皆さんの一生の宝物になります。ものの見方や発想を変えられる力をもてるようになってほしい」(在広州総領事館大聖寺利幸首席領事)、「いままで当たり前と感じていたみんなで共にこの校舎で学ぶ大切さと素晴らしいを感じてほしい」(渋谷恭一理事長)、「広州日本人学校で最高の学校生活を送ってほしい。いろいろなことに興味を持って、挑戦してほしい。一つ一つ困難を克服することで成長できます」(瀬尾浩平PTA会長)

あらためまして、ご入学おめでとうございます。

